

OLYMPUS®

ボイストレック

DS-1

取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使い下さい。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管して下さい。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

安全に正しくお使いいただくために

この度はオリンパスボイストレックDS-1をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

警告

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

注意

この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。



この記号は、決してしてはいけない「禁止」内容を表しています。図または文章で具体的な禁止内容を示します。



この記号は、必ず実行していただく「強制」内容を表しています。

電池について

⚠警告



このボイストレック用に指定されていない電池を使わないでください。



充電できないアルカリ電池、リチウム電池などを充電しないでください。



火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。



古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池を使わないでください。



電池の極性(⊕と⊖)を逆に入れないでください。

電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂する恐れがあります。

- 表面の被覆の破れた電池を使わないでください。
- 長期間使用しない時は、必ず電池を取り出して保管してください。
- 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。
- 使えなくなった電池は速やかにボイストレックから取り出してください。液漏れの恐れがあります。

⚠警告



電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。

電池は幼児・子供が飲み込む恐れがあります。

万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

⚠警告



万一、使用中に異常な音をする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

- 1 火傷に注意しながら速やかに電池を抜いてください。
- 2 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
放置すると火災や火傷の原因となります。

AC アダプタについて

⚠警告



分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

⚠警告



内部に水、金属、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。

⚠警告



引火性ガスや物質（ガソリン、ベンジン、シンナーなど）の近くで使用しないでください。
爆発や火災、火傷の原因となります。

⚠警告



プラグ先端の⊕、⊖をショートさせないでください。
火災や火傷、感電の原因となります。

⚠警告



- 落下や損傷により内部が露出したら、
- 1 露出した内部に絶対触れないでください。
感電、火傷、ケガの恐れがあります。
 - 2 感電、火傷、ケガに注意し、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 3 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。

⚠警告



- 水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、
- 1 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 2 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠警告



万一、使用中に異常な音がる、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、

- 1 火傷に注意しながら速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 2 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。

⚠注意



濡らしたり、濡れた手で触らないでください。

感電の原因となります。

⚠注意



表示の電源電圧以外で使用しないでください。



電源プラグにほこりをつけたまま、コンセントに差し込まないでください。



電源プラグのコンセントへの差込が不完全なまま使用しないでください。



使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



電源コードを傷つけないでください。

- コードを引っ張って電源プラグをコンセントから抜かないでください。

- コードの上に重いものをのせないでください。

- 熱器具にコードを近づけないでください。

- コードを無理に曲げたり、強く引っ張らないでください。

火災や感電の原因となります。

本機について

⚠警告



分解、修理、改造をしないでください。
感電やケガの恐れがあります。

⚠警告



操作前から、音量（ボリューム）を上げないでください。
聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。



車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。
交通事故などの原因となります。

⚠警告



この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。
幼児、子供の近くで使用する時は細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故の恐れがあります。

例えば

- 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
- 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。

⚠警告



水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、

- 1 速やかに電池およびACアダプタを抜いてください。
- 2 お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。

⚠警告



航空機内や病院などで使用を禁止された場所では使用しないでください。
電子機器や医療用電気機器に影響をおよぼす場合があります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示にしたがってください。

ボイストレック (Voice-Trek) はオリンパス光学工業株式会社の登録商標です。

IBM、PC/AT、ViaVoice は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。
Intel および Pentium は、Intel Corporation の登録商標です。

Voice 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

Macintosh および Apple は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

目次

商品の概要

主な特徴	8	スマートメディアについて	10
使用上のご注意	9	各部の名称	12

録音前の準備

電池の入れかた	14	日付・時刻の設定	16
電池の交換について	15	スマートメディアの出し入れ	18
ACアダプタを使用する場合	15		

基本的な使いかた

録音のしかた	20	消去のしかた	26
再生のしかた	23		

その他の機能

音声起動録音(VCVA)のしかた	28	インデックスマークについて	34
挿入録音のしかた	29	アラーム再生について	36
外部マイクや他の機器からの 録音のしかた	30	BEEP（ビープ）音について	39
マイク感度について	30	フォルダ名のつけかた	40
録音モードについて	31	ファイル移動のしかた	42
消去ロックのしかた	32	スマートメディアの初期化のしかた	43
		パソコンに接続して使うには	44

その他

ホールドについて	47	故障かな？と思ったら	50
リセットについて	47	主な仕様	51
メニューの一覧	48	アクセサリ（別売）.....	52
警告表示一覧	49	用語の説明	53

主な特徴

本商品は以下のような特徴を備えております。

主な特徴

音声をデジタル変換し、高能率圧縮したDSS形式ファイルでスマートメディアに記録するデジタル音声レコーダーです。標準的録音時間のSPモードと長時間録音可能なLPモードの2種類の録音モードが選択可能です(P.31)。付属の16MBスマートメディアの場合、SPモードで約2時間35分*、LPモードで約5時間30分*の録音が可能です。別売の64MBスマートメディアでは最大22時間20分*の録音が可能です。

音声起動録音機能(VCVA)によりメモリの節約が可能です(P.28)。

録音したファイルは3つのフォルダに分けて保存することができるので、あとでファイルを確認するのに便利です(P.20)。ドットマトリクス表示を採用したディスプレイにはメッセージ番号、リアルタイムカウンター、録音可能時間、現在日時、動作モード、各種警告等がわかりやすく表示されます。

挿入録音機能により、録音済ファイルに音声の追加録音ができます(P.29)。

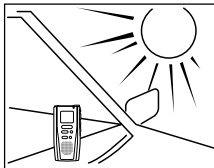
USB接続キット(別売)を使うと録音したファイルをパソコンに転送したり、パソコンからのリモート操作が可能です(P.44)。

IBM社の音声認識ソフト「ViaVoice ミレニウム」(別売)またはジャストシステム社の「Voice-太郎10 e-Talk」(別売)などをUSB接続キット(別売)と一緒にお使いになると、録音した音声ファイルを高い変換効率で文字変換させることが可能です** (P.44)。

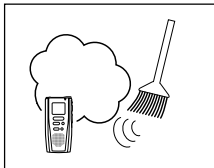
- * 1つのファイルを連続で録音した場合の録音可能時間。小刻みに録音を繰り返した場合、録音可能時間がこれよりも短くなることがあります。(録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてお使いください。)
- ** 音声認識ソフトに音声登録した1人の人が、SP(標準録音)モードで、比較的静かな環境で一定した話しかたで録音する必要があります。下記のような状況で録音した音声ファイルは文字変換には不向きで認識率が著しく低く、音声認識にはお使いいただけません。
 - 複数の人の声が録音される、会議や座談会など。
 - まわりの雑音が録音されやすい、講演会や講義など。

使用上のご注意

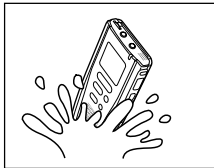
直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。



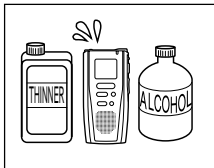
湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。



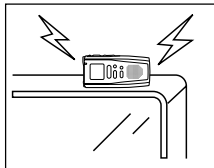
水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取りましょう。特に塩分は禁物です。



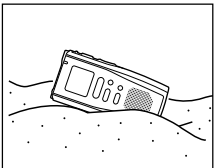
清掃する時、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。



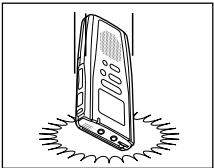
テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないください。



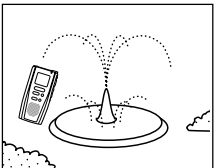
砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。



強い振動やショックを与えないください。



水気の多い場所で使用しないでください。



この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づく第二種情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置が

ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

スマートメディアについて

スマートメディアとは

着脱可能なIC記録媒体です。フロッピーディスクよりメモリ容量が大きく、パソコンとのデータのやりとりに便利です。着脱可能なのでデータの保存にもお使いいただけます。付属の16MBのスマートメディアで容量の足りないときは、別売のスマートメディアをお求めになることにより同様にお使いいただけます。

メモリ容量の異なるスマートメディアをお求めの際は、オリンパス製デジタルカメラ「CAMEDIA」用3(3.3)Vスマートメディア(メモリ容量4・8・16・32・64MB)をお求めください。

ご注意

- 市販の5Vスマートメディアはご使用になれません。
- 本機では著作権保護を目的とした「ID機能付きスマートメディア」と「ID機能なしスマートメディア」のどちらもご使用になれます。(本機で記録したファイルは著作権保護の対象になりません。)

スマートメディアのメモリ容量と録音時間のめやす*

メモリ容量	S Pモード	L Pモード
4MB	35分	1時間20分
8MB	1時間15分	2時間45分
16MB	2時間35分	5時間30分
32MB	5時間10分	11時間10分
64MB	10時間25分	22時間20分


* 録音時間とは、1つのファイルを連続で録音した場合の録音可能時間です。小刻みに録音を繰り返した場合は、録音可能時間がこれよりも短くなる場合があります。

本機での音声の記録形式


本機では録音した音声を高能率に圧縮したDSS(Digital Speech Standard)形式のファイルとしてスマートメディアに記録します。DSS形式ファイルはUSB接続キット(別売)を使用すると、パソコン上でファイルの再生、編集ができます。

スマートメディアの取り扱い上の注意

スマートメディアをご使用になるときはお客様の大切なデータを破壊、消失から防ぐために以下のことを必ずお守りください。


 本機が録音、再生、消去、初期化などの動作中には絶対にスマートメディアを抜いたり、電池を取り出したり、電源アダプタを抜き差ししないでください。


これを行うときは停止ボタンを押して本機の動作を終了させてから行ってください。


 SSFDC フォーラム* に準拠しない製品（一部のMP3プレーヤーなど）でスマートメディアを使用しないでください。

以後本機ではいっさい使用できなくなることがあります。


* SSFDCフォーラムとはスマートメディアの企画、標準化を進める団体の名称です。本機はSSFDCフォーラムの推奨するフォーマットを用いています。

 スマートメディアは精密機器です。無理な力や衝撃を与えないでください。


 高温多湿な場所での使用、保管は避けてください。

 スマートメディアのコンタクトエリア（金色の電極部）には直接手をふれないでください。

汚れたら乾いた柔らかい布などで拭いてください。

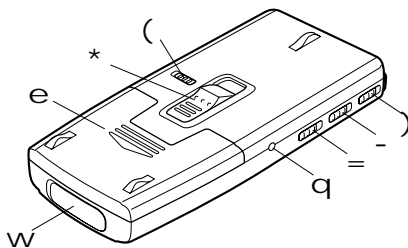
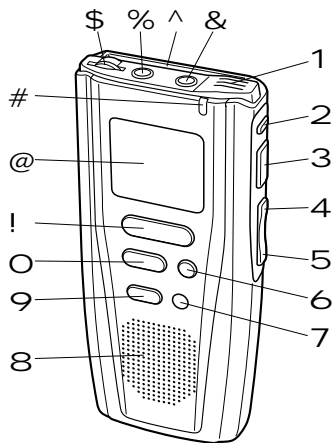
 スマートメディアは静電気によるデータの破壊を受けることがあります。携帯するときは付属のケースに入れてください。

また、大切なデータはUSB 接続キット（別売）を使用してパソコンなどにバックアップすることをおすすめします（ P.44 ）。

 破壊、消失あるいは消去されたデータは復旧できません。

データの取り扱いには十分ご注意ください。

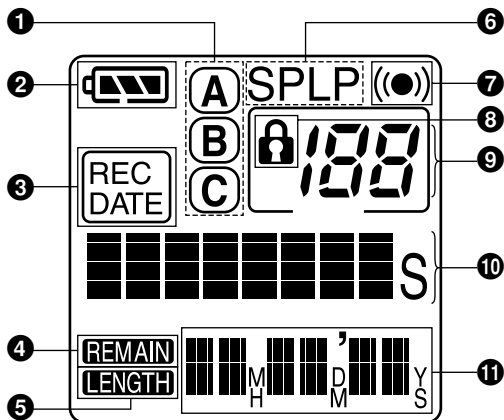
各部の名称



- 1 内蔵マイク
- 2 フォルドボタン
- 3 再生ボタン
- 4 早戻し / - ボタン
- 5 早送り / + ボタン
- 6 インデックスボタン
- 7 消去ボタン
- 8 内蔵スピーカー
- 9 メニューボタン
- 停止ボタン
- ! 録音ボタン
- @ ディスプレイ (液晶表示パネル)

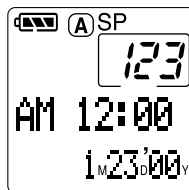
- # 録音 / 再生表示ランプ
- \$ 音量つまみ
- % イヤホンジャック
- ^ スマートメディア挿入口
- & マイクジャック
- * スマートメディア取り出しスイッチ
- (電源 / ロックスイッチ
-) マイク感度スイッチ
- VCVA スイッチ
- = ホールドスイッチ
- q 電源ジャック
- w パソコン接続 (USB) 端子
- e 電池ぶた

ディスプレイ（液晶表示パネル）について



- ① フォルダ
- ② 電池表示
- ③ 録音日時マーク
- ④ メモリ残量マーク
- ⑤ ファイルの総時間マーク
- ⑥ 録音モード
- ⑦ アラームマーク
- ⑧ 消去ロックマーク
- ⑨ 現在のファイル
- ⑩ 現在の時刻、経過時間表示、録音時刻、操作表示、メニュー表示など
- ⑪ 年月日、メモリ残量、再生ファイルの総録音時間、操作表示など

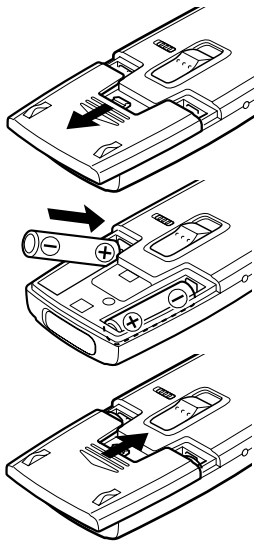
停止状態



録音、再生などの操作をしない停止状態では、時計表示になります。

電池の入れかた

電池の入れかた



1 電池ぶたをスライドさせて開ける

2 単4形乾電池(2本)の⊕と⊖を正しい向きで入れる

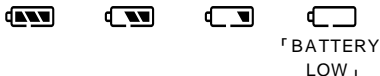
3 電池ぶたを完全に閉める

ご注意


初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、電池を入れると「時」表示が点滅します。「日付・時刻の設定」(P.16、17) の手順 1 ~ 5 にしたがって時計を合わせてください。

電池の交換について

電池の残量に応じてディスプレイの電池表示が次のようにかかります。



電池がなくなると、ディスプレイに「BATTERY LOW」が表示され、動作が停止します。

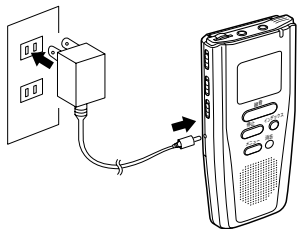
ディスプレイに  マークが表示されたら、なるべく早く新しい電池に交換してください。交換の際はアルカリ単 4 形乾電池*の使用をおすすめします。

* アルカリ単 4 形乾電池 2 本で約 11 時間の録音、再生ができます。電池寿命は使用環境、状態により異なります。

ご注意

- 電池の交換は必ず本機を停止状態してから行ってください。本機が録音、消去などの動作中に電池を抜くと、録音した内容が再生できなくなる恐れがあります。
- 電池を交換するときは、必ず 2 本とも新しい電池に交換してください。
- 3 分以上電池を抜いたときは、内蔵充電電池を使い切ってしまう、再び電池を入れた際に時刻の設定が必要になることがあります (P.16、17)。

AC アダプタを使用する場合



図のように AC アダプタ A324 (別売) を家庭用電源のコンセントに差し込み、プラグを本機の電源ジャック (DC3V) に接続します。AC アダプタのプラグは、必ず本機を停止状態にしてから差し込んでください。電池で録音中に AC アダプタのプラグを差し込むと、録音中の内容が再生できなくなる恐れがあります。

⚠警告



極性の違うものや出力電圧が 3V 以外の AC アダプタは、絶対に使用しないでください。



AC アダプタ A324 は日本国内専用です。外国では使用しないでください。AC アダプタは誤った使い方をすると破損したり、火災や感電の原因になりますので、必ず専用の AC アダプタ A324 を使用してください。



AC アダプタは、本機を停止状態にしてから取り外してください。



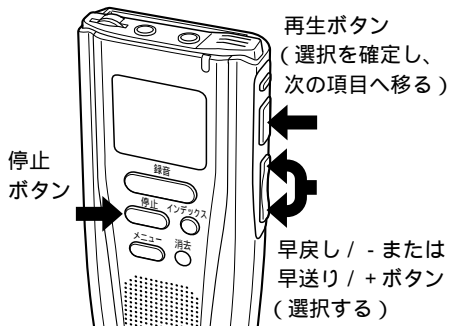
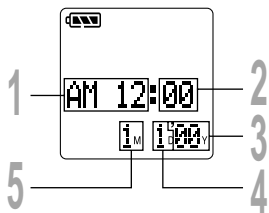
AC アダプタをお使いになったあとは必ずコンセントから抜いてください。

日付・時刻の設定

日付と時刻を設定しておく、「いつ録音した」という情報が自動的に記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ設定しておくことをおすすめします。またアラーム再生を行うときに必要です（ P.36、37 ）。

ご購入後初めてお使いになるときや、長い間お使いにならないで電池を入れたときは、自動的に「時」表示が点滅します。つぎの手順にしたがって設定をしてください。

日付・時刻の設定画面



1 「時」を設定する

- 1 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して「時」を設定します。
- 2 再生ボタンを押して、「時」を確定します。

2 「分」を設定する

- 1 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して「分」を設定します。
- 2 再生ボタンを押して、「分」を確定します。

3 「年」を設定する

- 1 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して「年」を設定します。
- 2 再生ボタンを押して、「年」を確定します。

4 「月」を設定する

- 1 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して「月」を設定します。
- 2 再生ボタンを押して、「月」を確定します。

5 「日」を設定する

- 1 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して「日」を設定します。
- 2 再生ボタンを押して、「日」を確定します*。

時刻の設定を完了します。

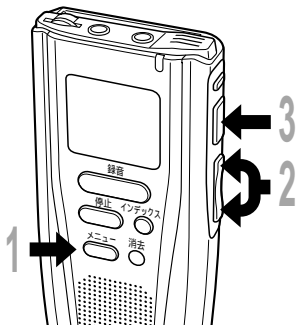
スマートメディアが挿入されていないと、「INSERT CARD」とディスプレイに表示されますが、しばらくすると現在の日時の表示に変わります。

*「日」を確定したときから本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて再生ボタンを押してください。

ご注意

設定の途中に停止ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。

日時・時刻の設定をかえるには



- 1 メニューボタンを押す
メニュー画面に入ります(P.48)。
- 2 早戻し/- または早送り/+ ボタンを押して日付・時刻の設定の画面を選ぶ
- 3 再生ボタンを押す
「時」表示が点滅し、日付・時刻の設定を始めます。



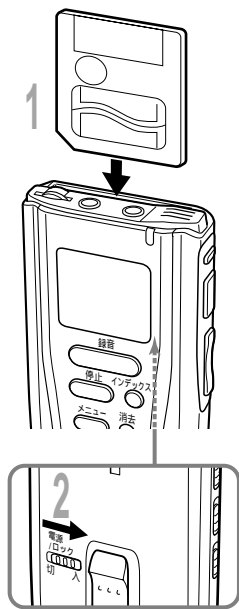
以下は日付・時刻の設定の手順1(P.16)からと同じです。

スマートメディアの出し入れ

スマートメディアを入れる

下の図のような向きに合わせてスマートメディアを挿入口に入れてください。

スマートメディアの出し入れ



- 1 スマートメディアを正しい方向に入れる
- 2 電源/ロックスイッチを「入」にする
ディスプレイが表示されます。



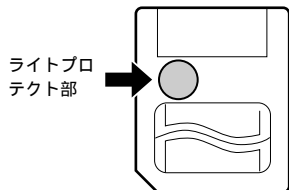
スマートメディアを正しく入れると確認中の表示が点滅します。

ご注意

- スマートメディアは奥まできちんと押し込んでください。
- 初期化されていないスマートメディアを入れた場合は自動的に「FORMAT YES?」と表示されますので、初期化してください（ P.43 ）。
- スマートメディアは本機で初期化したものか、またはオリンパスデジタルカメラ「CAMEDIA」シリーズで初期化したもの以外は使用しないでください（ P.10、11 ）。

スマートメディアの誤消去防止について

スマートメディアに付属の誤消去防止(ライトプロテクト)シールを貼ると、録音、消去、初期化ができなくなります。

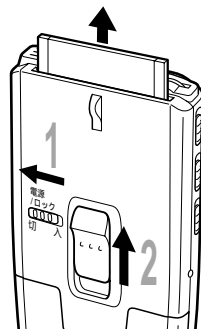


大切なデータを誤って消さないためには、スマートメディアのライトプロテクト部に誤消去防止シールを貼ってください。再び録音または消去するときは、誤消去防止シールをはがしてから使用してください。

ご注意

- 誤消去防止シールはライトプロテクト部からはみ出したり、浮きやはがれないように貼ってください。
- 市販のラベルなどは貼らないでください。
- はがした誤消去防止シールは再利用できません。
- 誤消去防止シールが汚れていると誤消去防止機能が働かない場合があります。汚れは濡いた柔らかい布などで拭いてください。
- 本機以外の機器では誤消去防止シールが貼ってあっても、書き込みできる場合がありますのでご注意ください。

スマートメディアを取り出すには

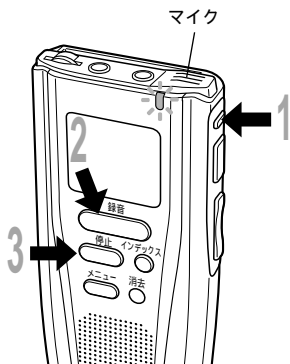


- 1 電源/ロックスイッチを「切」にする
ディスプレイが消えます。
- 2 スマートメディア取り出しスイッチ
を押す上げる
スマートメディアを指でつまんで取り出
します。

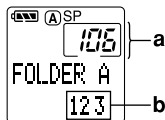
電源/ロックスイッチが「入」になっていると、スマートメディア取り出しスイッチは動きません。

録音のしかた

本機にはA、B、Cの3つのフォルダがあり、各フォルダに録音した音声は一件ごとに「ファイル」として保存されます。Aフォルダはプライベート用、Bフォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。また各フォルダは区別しやすいように名前をつけることができます(P.40、41)。各フォルダごとに最大199件の用件を録音できます。

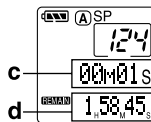


1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ
フォルダ名が1秒間表示されます。



a 現在のファイル番号
b フォルダ内の総ファイル数

2 録音ボタンを押して録音を開始する
録音/再生表示ランプが赤く点灯します。
録音したい音の方にマイクを向けます。



c 現在の録音時間
d 録音可能な残り時間

3 停止ボタンを押して録音を止める

ご注意

- 録音中に録音可能な残り時間が60秒、30秒、10秒になったときに、「プー」という警告音が鳴ります。
- ディスプレイに「MEMORY FULL」や「FOLDER FULL」と表示されたときは、メモリやファイル件数がいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（ P.26 ）。またUSB接続キット（別売）を使用するとファイル（音声データ）をパソコンに転送して保存しておくことができます（ P.44 ）。
- 録音中は電池が入っている状態でも、ACアダプタを抜き差ししないでください。録音中のファイルがあとで再生できなくなる場合があります。

録音を一時停止するには

一時停止する

録音中に録音ボタンを押します。

- ➡ ディスプレイの「REC PAUSE」が点滅します。

録音を再開する

録音ボタンをもう一度押します。

- ➡ 一時停止したところから録音を再開します。

ご注意

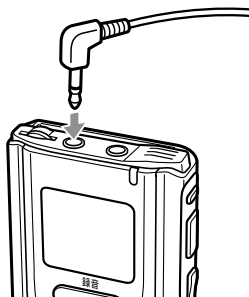
録音一時停止のまま10分以上過ぎると停止状態になります。

録音内容をすばやく確認したいとき

録音中に再生ボタンを押す

録音を中断し、今録音したファイルが再生されます。

録音中に音を聞くととき（録音モニター）

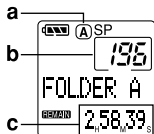


イヤホンをイヤホンジャックに差し込むと録音中の音声を聞くことができます。この場合、音量は固定になります。

録音可能な残り時間を知りたいとき

停止状態で停止ボタンを押しつづける

録音可能な残りの時間が表示されます。



- a 現在のフォルダ
- b フォルダ内の総ファイル数
- c 録音可能な残り時間

録音に関する設定

特別な設定をしなくても標準的な状態で録音できるように設定されていますが、長時間録音できるLPモードや録音に適したマイク感度切り換え、メモリの節約ができる音声起動録音機能などが設定できます。詳しくは下記のページを参照してください。

録音モード： SP (標準録音) モード /
LP (長時間録音) モード
(P.31)

マイク感度： 口述 / 会議
(P.30)

音声起動録音： OFF / ON
(VCVA) (P.28)

音声認識を目的とした録音について

本機で録音したファイルは、USB 接続キット (別売) を使用してパソコンへ転送し、音声認識ソフト (別売) により文字変換できます (P.44)。録音したファイルは録音条件によりうまく音声認識できない場合があります。詳しくは音声認識ソフトの取扱説明書をご覧ください。

本機を使用して、音声認識を目的とした録音をするときは、次のようなことに十分注意して録音してください。

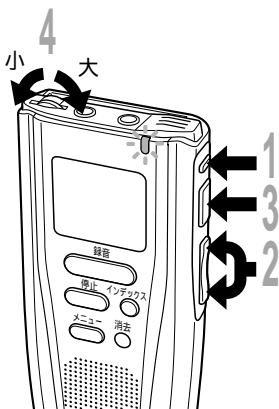
- マイク感度スイッチを「口述」にする
- 録音モードを「SP」に設定する
- 音声起動録音 (VCVA) スイッチを「切」にする
- 音声認識ソフトに声を登録した1人の話し手が録音する
- 比較的静かな環境で録音する
- 本機の内蔵マイクと話し手の口を近づけて (5 ~ 10cm) 録音する
- 一定の話しかたで録音する

ご注意

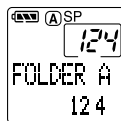
次のような条件で録音したファイルは認識率が低く、音声認識にはお使いいただけません。
— 複数の人の声が録音される、会議や座談会など

— まわりの雑音も録音されやすい、講演会や講義など

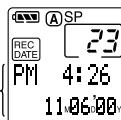
再生のしかた



1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ



2 早戻し/- または早送り/+ ボタンを押して*再生したいファイルを選ぶ
ファイルを録音した日時が表示されます。

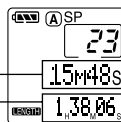


a 選択されている
ファイルの録音
日時

3 再生ボタンを押して再生を開始する
録音/再生表示ランプが緑色に点灯します。



4 音量つまみを調節して聞きやすい音量にする



b 現在の再生時間

c 再生中のファイル
の総録音時間

1つのファイルを再生し終わると自動的に停止します。

* 早戻し/- または早送り/+ ボタンを押し続けると連続してファイル
をスキップ（連続スキップ）します。

再生のしかた

再生を途中で止めるには

中止する

停止ボタンを押します。

- ➡ 今再生していたファイルの先頭に戻ります。

一時停止する

再生ボタンを押します。

- ➡ ディスプレイの「PLAY PAUSE」が点滅します。

再生を再開する

再生ボタンをもう一度押します。

- ➡ 一時停止していたところから再生を再開します。

ご注意

一時停止状態のまま10分以上過ぎると停止状態になります。

イヤホンで聞くととき



イヤホンジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。イヤホンを接続するとスピーカーから音は出ません。

ご注意

イヤホンで聞くとときは音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こす恐れがあります。

再生に関する操作

再生中にファイルのスキップをする

再生中に早送り / + ボタンを押します。

- ➡ 次のファイルの先頭にスキップし、再生を始めます。

早送り / + ボタンを2回押します。

- ➡ 2つ先のファイルの先頭にスキップし、再生を始めます。

(途中でインデックスマーク(P.34、35)がついているときは、インデックスマークの位置で再生を始めます。)

再生中にファイルの逆スキップをする

再生中に早戻し / - ボタンを押します。

- ➡ 再生中のファイルの先頭にスキップし、再生を始めます。

早戻し / - ボタンを2回押します。

- ➡ 1つ前のファイルの先頭にスキップし、再生を始めます。

(途中でインデックスマーク(P.34、35)がついているときは、インデックスマークの位置で再生を始めます。)

早聞き再生する

停止状態か再生中に再生ボタンを1秒以上押します。

➡ 通常の再生速度の約1.5倍の早さで再生します。

- 早聞き再生のときも通常再生と同じように、再生の停止、ファイルのスキップ、インデックスマークの挿入（ P.34、35 ） 挿入録音（ P.29 ） などの操作ができます。
- 早聞き再生を停止した場合は、次の再生は通常の再生速度に戻ります。

早聞き再生を解除する

もう一度再生ボタンを1秒以上押します*。

➡ 通常の再生速度に戻ります。

- * 再生ボタンを短く押すと（1秒未満）早聞き再生のまま一時停止します。

キュー（音を聞きながら早送り）

再生中に早送り / + ボタンを押し続けます。

- ファイルの終わりまで進むといったん停止します。早送り / + ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭からキューを続けます。
- ファイルの途中にインデックスマークがついているとインデックスマークでいったん停止しますが、早送り / + ボタンを押し続けるとキューを続けます。

キューを解除する

聞きたいところでボタンを離します。

➡ 再生を始めます。

レビュー（音を聞きながら早戻し）

再生中に早戻し / - ボタンを押し続けます。

- ファイルの先頭まで進むといったん停止します。早戻し / - ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりからレビューを続けます。
- ファイルの途中にインデックスマークがついているとインデックスマークでいったん停止しますが、早戻し / - ボタンを押し続けるとレビューを続けます。

レビューを解除する

聞きたいところでボタンを離す

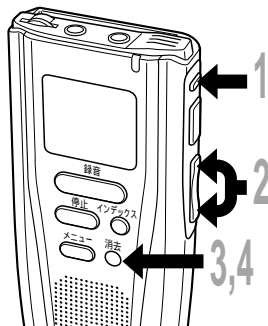
➡ 再生を始めます。

消去のしかた

ファイルを1件ずつ消去する場合

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。

消去のしかた



1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

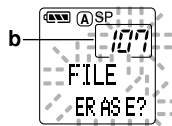
2 早戻し/- または早送り/+ ボタンを押して消去したいファイルを選ぶ

3 消去ボタンを押す
「FILE ERASE?」が8秒間点滅します。

4 もう一度消去ボタンを押す
ディスプレイが点灯にかわり、消去を開始します。



a 現在のフォルダ



b 消去したいファイル



「ERASE OK」と表示されたら消去が完了します。
消去したファイル以降のファイル番号は自動的に繰り上がります。

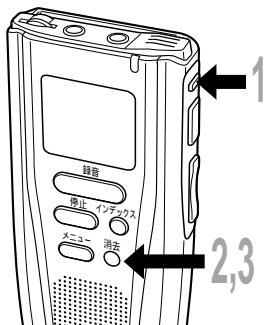
ご注意

- 一度消去したファイルは元に戻すことができません。
- 消去ロック設定のあるファイルは消去されません (P.32)。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある状態では消去できません (P.19)。

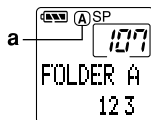
フォルダ内のファイルをすべて消去する場合

選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。

ただし消去ロック設定のあるファイルは消去されません（ P.32 ）

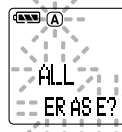


1 フォルダボタンを押して全ファイルを消去したいフォルダを選ぶ



a 消去したいフォルダ

2 消去ボタンを3秒以上押し「ALL ERASE?」が8秒間点滅します。



消去のしかた

3 もう一度消去ボタンを押す
ディスプレイが点灯にかわり、消去を開始します。



「ERASE OK」と表示されたら消去が完了します。
消去ロックの設定されているファイルは、ファイル番号の小さい順にあらためて「1」からファイル番号がつかます。

ご注意

- 消去を完了するまで数十秒かかることがあります。その間はスマートメディアを取り出さないでください。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある状態では消去できません（ P.19 ）

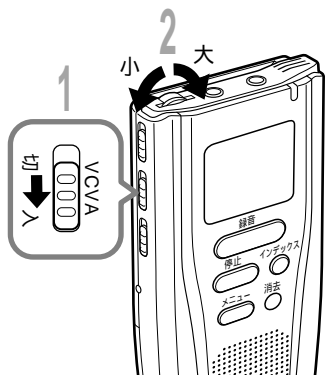
音声起動録音(VCVA)のしかた

音声起動録音(VCVA)とは、設定した起動感度よりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。

会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約することができます。

* まわりの雑音が大きいなど、録音状況に応じてVCVAの起動感度を調節することができます。

失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で起動感度を調節することをおすすめします。



1 VCVAスイッチを「入」にして録音する
設定した起動感度より音が小さくなると自動的に録音が一時停止します。このときディスプレイに「STANDBY VCVA」が点滅します。

録音起動中は録音/再生表示ランプが赤く点灯し、一時停止すると点滅します。



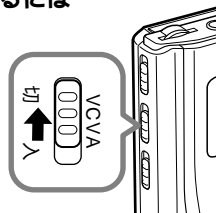
2 VCVAの起動レベルを音量つまみで調節する
音量つまみの数字が大きくなるほどVCVAの起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。

ご注意

- 起動レベルは設定されているマイク感度によっても異なります (P.30)。
- 録音したファイルをパソコンに転送し、音声認識ソフトで使用する場合は、VCVAを「切」にして録音してください (P.22)。

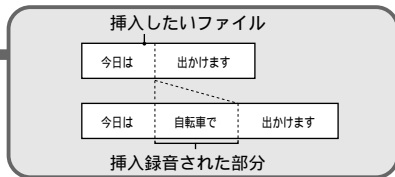
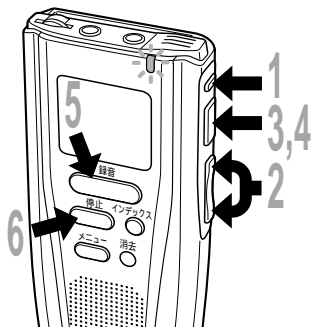
音声起動録音(VCVA)の解除をするには

VCVAスイッチを「切」にします。

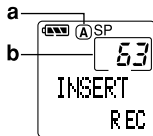


挿入録音のしかた

すでに録音されたファイルの途中で録音を追加することができます。



- 1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ
- 2 早戻し/- または 早送り/+ を押して挿入録音したいファイルを選ぶ
- 3 再生ボタンを押して再生を開始する
- 4 挿入録音をしたいところでもう一度再生ボタンを押す
再生を一時停止します。
- 5 録音ボタンを押して挿入録音を始める
録音/再生表示ランプが赤く点灯します。
- 6 停止ボタンを押して挿入録音を止める



a 現在のフォルダ
b 挿入録音したいファイル

挿入録音を一時停止するには

一時停止する

録音ボタンを押します。

➡ ディスプレイに「INSERT PAUSE」が点滅します。

挿入録音を再開する

録音ボタンをもう一度押します。

➡ 挿入録音を再開します。

ご注意

- 挿入録音中にメモリ残量がなくなると自動的に録音を停止します。
- 挿入録音をしたファイルの録音日時は挿入録音をした日付・時刻に更新されます。

外部マイクや他の機器からの録音のしかた

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音することができます。



外部マイクや他の機器からの録音のしかた

マイク感度について

マイクジャックに外部マイクや他の外部機器を接続する

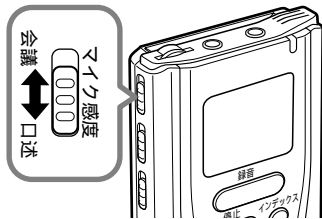
使用目的に合わせてマイクなどのアクセサリ（別売）をご使用ください（ P.52 ）

ご注意

- マイクジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- 本機では入力レベルの調節はできません。レコーダーやチューナーなどの外部機器を接続するときは試し録音をして外部機器の出力レベルを調節してください。
- プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

マイク感度について

使用目的に合わせて内蔵マイクの感度を切り替えることができます。



マイク感度スイッチで「会議」か「口述」を選ぶ

「会議」..... 周囲の音も録音できる高感度モード

「口述」..... 口述録音に適した通常感度モード

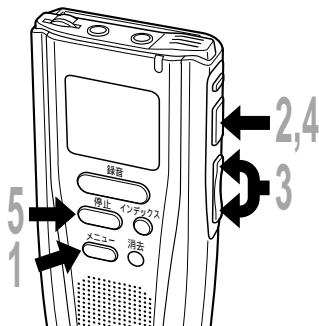
ご注意

- 録音したファイルをパソコンに転送し、音声認識ソフトで使用する場合には「口述」モードで録音してください（ P.22 ）。
- 話し手の声をはっきりと録音したい場合は「口述」モードにして、本機の内蔵マイクロホンと話し手の口を近づけて（5～10cm）録音してください。
- 「口述」モードで録音しても、周囲の雑音が録音に影響する場合はノイズキャンセリングマイク ME12（別売）のご使用をおすすめします。
- 会議などを「会議」モードで録音するときに、本機と話し手が離れている場合は、望遠マイクロホン ME7（別売）のご使用をおすすめします。

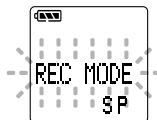
録音モードについて

SPモード(標準録音モード)とLP(長時間録音モード)を選ぶことができます。

付属のスマートメディア(16MB)を使用した場合、SPモードで約2時間35分、LPモードで約5時間30分の録音が可能です。

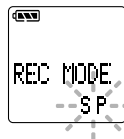


1 **メニューボタンを押す**
メニュー画面に入ります(P.48)。



2 **再生ボタンを押す**
録音モードの設定を始めます。

3 **早戻し/- または早送り/+ ボタンを押す**
してSPかLPを選ぶ



4 **再生ボタンを押す**
設定を完了します。

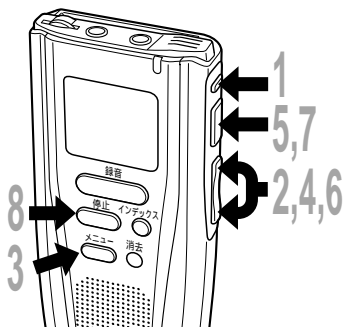
5 **停止ボタンを押してメニュー画面を終了する**

ご注意

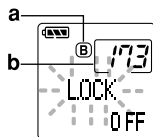
- 録音したファイルをパソコンに転送し、音声認識ソフトで使用する場合にはSPモードに設定して録音してください(P.22)。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合は、SPモードに設定して録音してください。

消去ロックのしかた

ファイルに消去ロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。
また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません(P.27)



- 1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ
- 2 早戻し/- または 早送り/+ ボタンを押して消去ロックをかけたいファイルを選ぶ
- 3 メニューボタンを押す
メニュー画面に入ります(P.48)
- 4 早戻し/- または 早送り/+ ボタンを押して消去ロックの画面を表示する
- 5 再生ボタンを押す
消去ロックの設定を始めます。
- 6 早戻し/- または 早送り/+ ボタンを押してONかOFFを選ぶ
ON...消去ロックがかかります。
OFF...消去ロックが解除されます。
- 7 再生ボタンを押して設定を完了する
- 8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する



- a 現在のフォルダ
b 消去ロックしたいファイル

ご注意

- 消去ロックをかけておくと挿入録音やインデックスマークの記録はできません。
- 消去ロックをかけても初期化をすると消去されません。
- 本機でかける消去ロックとパソコンで設定できるリードオンリー（読み取り専用）属性とは異なります。
- 消去ロックをかけたファイルでも、スマートメディアを初期化した場合は消去されます。

消去ロックの設定ができない場合

消去ロックの設定は次のような場合はできません。

- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってあるとき
- スマートメディアが挿入されていないとき
- 録音されているファイルがないとき

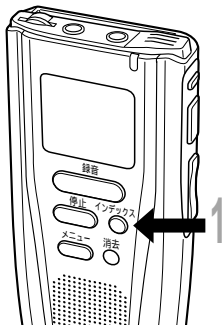
これらの場合は、消去ロックのメニュー画面に「LOCK」のみ点滅し、ファイル番号やフォルダ名は表示されません。



このとき再生ボタンを押すと、それぞれの警告表示が出ます（ P.49 ）。

インデックスマークについて

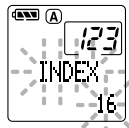
1つのファイル内で聞きたい位置をすばやく探すことができるように、インデックスマークをつけることができます。インデックスマークがあると、再生中に早戻し / - または早送り / + ボタンを操作することで、すばやく聞きたい位置から再生できます。



インデックスマークをつけるには

1 録音中または再生中に**インデックスボタン**を押してインデックスマークをつける

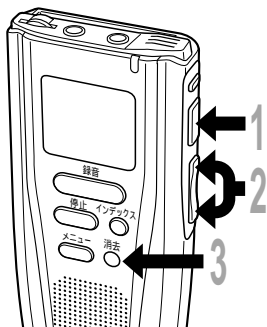
ディスプレイにインデックス番号が表示され、インデックスマークがつきます。



インデックスマークをつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作で別の場所にインデックスマークをつけることができます。

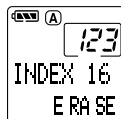
ご注意

- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってあるときは、インデックスマークをつけることはできません。
- 消去ロックをかけてあるファイルは、インデックスマークをつけることはできません (P.32)
- インデックスマークは一つのファイル内に最大で16件までつけることができます。16件を超えてインデックスマークをつけようとする、「INDEX FULL」の表示が出ます。



インデックスマークを消去するには

- 1 消去したいインデックスマークのあるファイルを再生する
- 2 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して消去したいインデックスマークを選ぶ
- 3 ディスプレイにインデックス番号が表示されている間(約2秒間)に消去ボタンを押す
インデックスマークが消去されます。



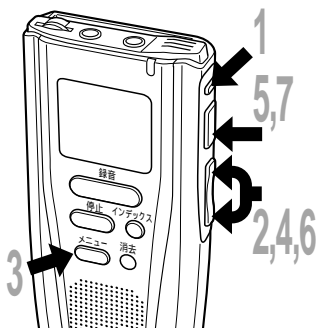
消去したインデックスマーク以降のインデックス番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってあるときは、インデックスマークを消去できません。
- 消去ロックをかけてあるファイルは、インデックスを消去できません。

アラーム再生について

アラーム再生とは設定した時刻にアラーム音を鳴らし、アラームが鳴っている間にいずれかのボタンを押すと、あらかじめ設定したファイルを再生する機能です。



1 フォルダボタンを押してフォルダを選ぶ

2 早戻し/- または 早送り/+ ボタンを押してアラーム再生したいファイルを選ぶ

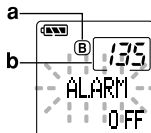
3 メニューボタンを押す
メニュー画面に入ります(P.48)。

4 早戻し/- または 早送り/+ ボタンを押してアラーム再生の設定画面を表示する

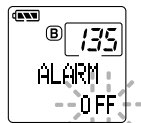
5 再生ボタンを押す
アラーム再生の設定を始めます。

6 早戻し/- または 早送り/+ ボタンを押してONかOFFを選ぶ
ON...アラーム再生をします。
OFF...アラーム再生を解除します。

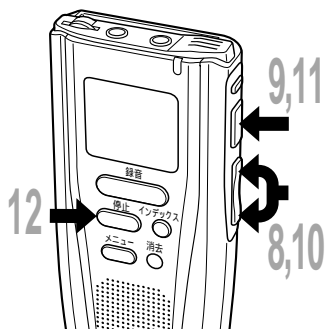
7 再生ボタンを押して確定する
ONを選択するとアラームマークが点灯して再生時刻の設定に移り、「時」が点滅します。 ステップ8へ



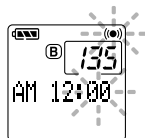
a 現在のフォルダ
b アラーム再生したいファイル



OFFを選択するとアラーム再生の設定を中止し、アラームマークは消えます。 ステップ12へ



- 8 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して「時」を設定する
- 9 再生ボタンを押して確定する
「分」が点滅します。
- 10 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して「分」を設定する
- 11 再生ボタンを押して設定を完了する
- 12 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する



アラーム再生時刻になると「ピーピー・・・」とアラーム音が鳴り出します。アラーム音がなっている間にいずれかのボタンを押すと、設定したファイルが再生されます。

.....
ご注意

- アラーム再生は1つのファイルのみ設定できます。
- アラーム再生の設定を解除しないと、毎日設定された時刻にアラーム音が鳴り始めます。
- アラームは鳴り始めて5分たつと止まります。
- アラームを設定した時刻に本機を操作している場合は、操作後アラームが鳴り出します。
- ホールドになっていても、アラーム再生の設定時刻になると、アラームが鳴り出します。この場合はホールド中でもいずれかのボタンを押すと設定したファイルの再生を始めます。
- 設定したファイルを消去したり、スマートメディアを抜いてしまったときは、アラーム再生の設定が解除されます。
- 電源 / ロックスイッチが「切」のときは設定時刻になってもアラーム再生をしません。

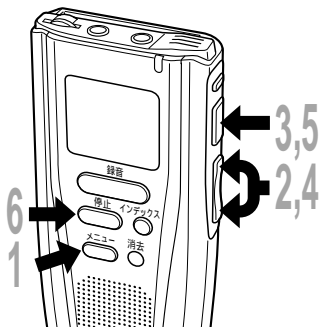
アラーム音のみ鳴らしたいとき

設定した時刻にアラーム音のみ鳴らしたいときは、スマートメディアを抜いた状態か、選択したフォルダのフォルダ数が0件の状態で設定します。

- アラーム再生の設定の手順3 (P.36) から設定を始めます。
- 設定時刻になってアラーム音が鳴ったとき、いずれかのボタンを押すと止まります。

BEEP（ビーブ）音について

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにBEEP音が鳴ります。
BEEP音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。



- 1 メニューボタンを押す
メニュー画面に入ります(P.48)
- 2 早戻し/- または 早送り/+ ボタンを押してBEEP音の設定の画面を表示する
- 3 再生ボタンを押す
BEEP音の設定を始めます。
- 4 早戻し/- または 早送り/+ ボタンを押してONかOFFを選ぶ
- 5 再生ボタンを押して設定を完了する
- 6 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する



ご注意

アラーム再生が設定されている場合はBEEP音の設定がOFFでも、設定時刻にアラーム音が鳴ります。

BEEP 音の種類

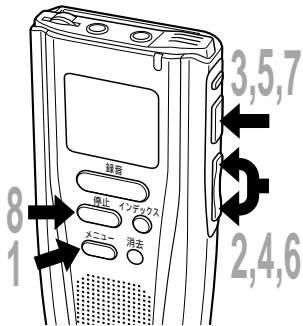
音	内容	音	内容
ビッ	再生や録音の開始、表示の切り替え	ブッ	スキップ
ビビッ	各種の設定、スマートメディアやUSBコネクタの挿入	ポッ	逆スキップ
ブッブ	再生や録音の一時停止	ビビビビッ	誤操作の警告
ブッ	再生や録音の停止、スキップの停止、連続スキップの停止	ブーブーブー	操作の終わり
		ビービービー...	アラーム再生
		ブー	録音可能な残り時間がわずかなときの警告 (P.21)

フォルダ名のつけかた

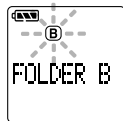
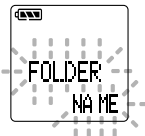
3つのフォルダに8文字以内の名前をつけることができます。

購入時の設定ではそれぞれのフォルダ名は次のようになっています。

フォルダ A ...FOLDER A フォルダ B ...FOLDER B フォルダ C ...FOLDER C



- 1 **メニューボタン**を押す
メニュー画面に入ります(P.48)。
- 2 **早戻し/- または早送り/+ ボタン**を押してフォルダ名の設定の画面を表示する
- 3 **再生ボタン**を押す
フォルダ名の設定を始めます。
- 4 **早戻し/- または早送り/+ ボタン**を押して名前をつけるフォルダを選ぶ
- 5 **再生ボタン**を押して名前をつけるフォルダを確定する
現在のフォルダ名の先頭の文字が点滅します。



6 早戻し / - または早送り / + ボタンを押して文字を選ぶ

文字は「0～9」「A～Z」「スペース(空欄)」を選ぶことができます*。

再生ボタン 文字を決定し次の文字へ移動します。

フォルダボタン 一つ前の文字に戻ります。

消去ボタン 点滅中の文字を消去します。

インデックスボタン 点滅中の文字の前に1文字挿入します。

* USB接続キットAS-100W(別売)を用いると、アルファベット小文字(a～z)とカタカナ(ア～ン)なども書き込めます。

ご注意

- 8文字目を決定すると自動的に入力を完了します。
- スマートメディアが挿入されていないとフォルダ名は変更できません。

7 フォルダ名を入力し終わったら再生ボタンを1秒以上押し続ける

新しいフォルダ名の入力を完了します。

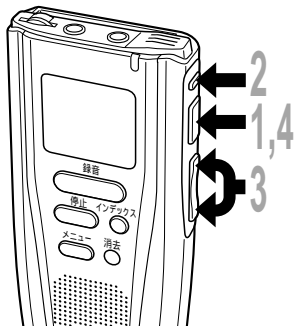
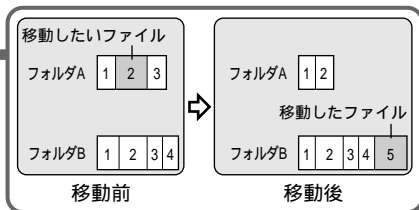
(他のフォルダの名前を続けて入力したときは早戻し / - または早送り / + ボタンを押してフォルダ名の設定画面を表示し、手順3から設定を始めます。)

8 停止ボタンを押してメニュー画面を終了する

ファイル移動のしかた

録音したファイルを別のフォルダに移動することができます。

移動したファイルは移動先のフォルダの一番最後に加えられます。

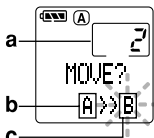


1 移動させたいファイルを選び再生ボタンを押して再生する

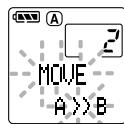
2 再生中にフォルダボタンを押す
再生が停止してディスプレイに移動先のフォルダが点滅します。

3 早戻し/- または早送り/+ ボタンを押して移動先のフォルダを選ぶ
移動先にもとのフォルダを選ぶと、そのフォルダ内で一番最後にファイルが移動します。

4 再生ボタンを押して移動先のフォルダを確定する
移動が完了します。



- a 移動したいファイル
- b 現在のフォルダ
- c 移動先のフォルダ

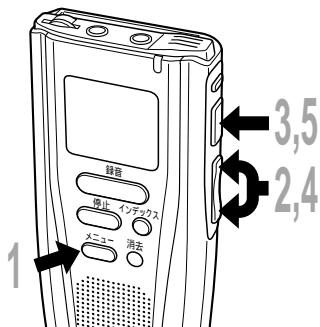


ご注意

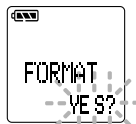
- 移動先のフォルダの録音件数が最大(199)のときは、ディスプレイに「FOLDER FULL」と警告表示され、移動できません。
- 移動先のフォルダを選ぶとき、停止ボタンを押すか、8秒間操作をしないとファイル移動を中止します。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある状態ではファイル移動できません。

スマートメディアの初期化のしかた

初期化とはスマートメディアを本機で書き込みできるフォーマットに変えることです。オリンパス製以外の機器で使用したスマートメディアや、本機で操作できなくなったスマートメディアは初期化をしてください。本機に付属のスマートメディアやオリンパス製スマートメディアは初期化済みですので、ご購入後すぐに使えます。



- 1 **メニューボタンを押す**
メニュー画面に入ります(P.48)。
- 2 **早戻し/ - または早送り/ + ボタンを押して「FORMAT」の画面を表示する**
- 3 **再生ボタンを押す**
初期化を設定します。
- 4 **早戻し/ - または早送り/ + を押して「YES?」を選ぶ**



- 5 **もう一度再生ボタンを押す**
表示が点滅して初期化を開始します。




「FORMAT OK」が表示されたら初期化完了です。



ご注意

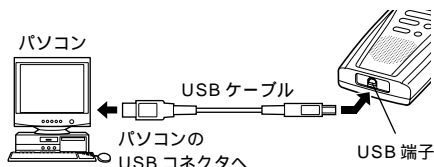
- 手順 4 のあと、8 秒間何も操作しない場合は、手順 2 に戻ります。
- 初期化をすると消去ロックをかけたファイルを含む既存のデータは全て消去されます。
- スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある場合は初期化できません。
- 初期化されていないスマートメディアを入れた場合は自動的に「FORMAT YES?」と表示されません。

 本機またはオリンパス製デジタルカメラ「CAMEDIA」以外では絶対に初期化しないでください。

パソコンや一部のMP3プレーヤーなどを用いると、スマートメディアが使えなくなることがあります。

USB 接続キット AS-100W (別売) を使うと、次のようなことができます。

- ① パソコンで音声データを再生、編集する*1
- ② 音声データを電子メールに添付して声のメールとして送る*2
- ③ 本機で録音したファイルを文字に変換する*3
- ④ パソコンのハードディスクに直接録音する
- ⑤ スマートメディアのデータをハードディスクにバックアップしたり、パソコンから本機にファイルを転送する



USB ケーブルは必ず本機を停止状態にしてから差し込んでください。

USB接続中は、ディスプレイに「REMOTE」が表示されません。

REMOTE

- * 1 USB接続キットAS-100W(別売)に含まれるソフトウェア「DSS Player 4」が必要です。詳しくは、USB接続キットAS-100Wの取扱説明書をご覧ください。
- * 2 USB接続キットには電子メールソフトは含まれていません。また、受け取った音声データをパソコンで再生するためには再生専用ソフトが必要です。DSS Player 4 (USB接続キットに含まれる)をお持ちでない場合は、再生専用ソフト(DSS Player-Lite for Windows 95/98)を弊社のホームページからダウンロードしてパソコンにインストールする必要があります。
- * 3 ご使用のパソコンに音声認識ソフトがインストールされている必要があります。本機との対応が確認されている音声認識ソフトは下記のとおりです。(2000年9月現在)

日本IBM社

- ・ViaVoice 98 Friendly Speak
- ・ViaVoice ミレニアム(プロ/スタンダード)ジャストシステム社
- ・Voice 一太郎 9 10 万本記念版以降
- ・Voice 一太郎 10 e-Talk

なお、今後リリースされるソフトウェアの対応状況については、弊社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください(P.54)。なお、これらのソフトウェアを本機との組み合わせでご使用になる場合は、お使いのパソコンでの動作を各ソフトのメーカーにご確認ください。

また、録音した音声データを文章に変換して使用する場合には、「音声認識を目的とした録音について」(P.22)をご覧ください。適切な条件で録音を行うようにしてください。

DS-1 用 USB 接続キット AS-100W

< 同梱品 >

- ・DS-1 用接続ケーブル (KP7)
- ・アプリケーションソフト
「DSS Player 4」インストールCD-ROM
- ・マイクケーブル (KP4)
- ・AS-100W 取扱説明書

< 使用できるパソコン動作環境 >

オペレーティング

システム : Microsoft Windows 98/
2000 Professional

対応パソコン : DOS/V機 (IBM PC/AT
互換機)

CPU : Intel Pentium 166MHz
以上または AMD K6

RAM 容量 : 32MB 以上

ハードディスク

空き容量 : 5MB 以上 (この他に音声
データ用空き容量が必要)

サウンドカード : Creative Labs sound
Blaster 16 または
100% 互換サウンド
カード

ディスプレイ : 800 × 600 ドット以上、
256 色以上

CD-ROM ドライブ: 2 倍速以上

USB ポート

オーディオ入出力

端子 : マイク入力およびイヤホン
(またはスピーカー) 出力

ご注意

Microsoft Windows 95ではUSBポートをご使用になれません。

パソコン上でスマートメディアを扱う上での
注意事項

パソコンではスマートメディアを初期化（フォーマット）しないでください。パソコンで初期化したスマートメディアは、本機では読み書きできません。初期化は、本機またはオリンパス製デジタルカメラ「CAMEDIA」で行ってください（P.43）。

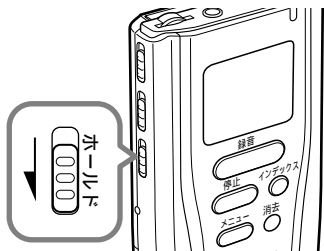
本機またはUSB接続キットAS-100W（別売）に付属のソフトウェア「DSS Player 4」で設定できるフォルダ名は、本機または「DSS Player 4」でのみ有効です。Microsoft Windows 95/98、Windows 2000 に付属の「エクスプローラ」などのファイル管理ツールで表示されるフォルダ（ディレクトリ）名とは異なりますのでご注意ください。

「エクスプローラ」などのファイル管理ツールを使用して、スマートメディア内のフォルダやファイルに対して移動や名前の変更などの操作を行うと、本機ではファイルの順番が変わったり、ファイルを認識できなくなることがあります。

パソコン上の操作でスマートメディアのフォルダ属性をリードオンリー（読み取り専用）に設定しても、本機ではデータの読み書きができますのでご注意ください。Apple社のMacintoshパソコン（iMac、Power Macなど）でスマートメディア内のフォルダを表示すると、本機の操作に不必要なファイルが自動的に作成され、スマートメディアに記憶できる容量が少なくなります。

AS-100W以外の接続機器を使用してパソコン上でデータ編集を行ったスマートメディアについては、本機での正常な録音、再生などの操作を保証しかねますのであらかじめご了承ください。

ホールドについて



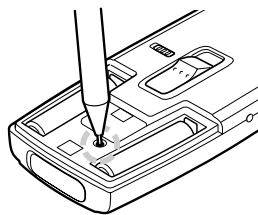
ホールドにすると、ボタンを押しても本機は動作しません。かばんやポケットに入れたとき、誤ってボタンが押されても動作しないので、持ち運ぶときなどに便利です。

使用するときには必ずホールドスイッチを解除してください。

ご注意

- 再生（もしくは録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります。（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音を終了すると停止状態になります。）
- 録音、再生中にホールドにしても、以下の操作はできます。
 - マイク感度スイッチによるマイク感度切り替え
 - VCVA スイッチによる VCVA の入 / 切
 - ボリュームつまみによる音量調節または音声起動録音中の起動感度調節（ P.28 ）
- ホールド中でもアラーム再生（ P.36、37 ）の設定時刻になるとアラームが鳴り出します。このときはホールド中でもボタンの操作ができます。

リセットについて

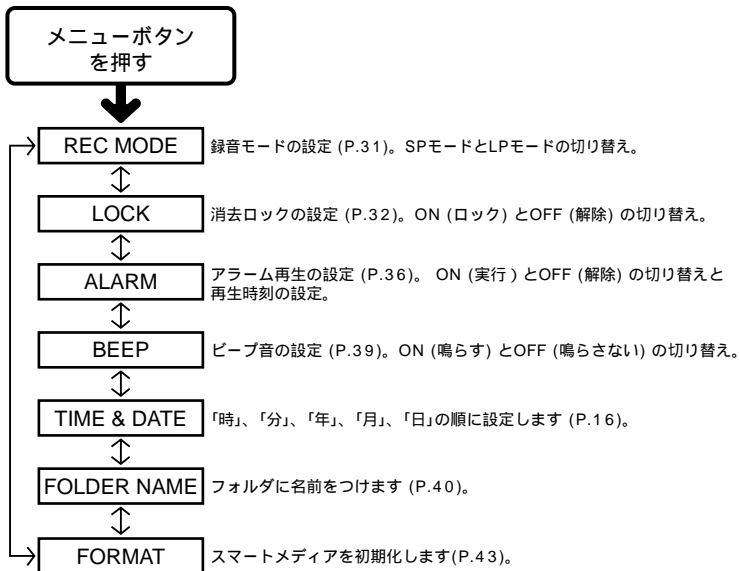


万一、操作中にディスプレイや動作に異常が発生した場合には、電池が入った状態で電池室にあるリセットボタンをボールペンなどの先端で軽く押してください。

ご注意

- 針など、先のとがったもので押さないでください。
- リセットボタンを押すと、自動的に日付・時刻の設定になります。確認してからもう一度設定してください（ P.16、17 ）。
- リセットしても録音済みの音声データは消去されません。

メニューの一覧



ご注意

- メニューの設定中に停止ボタン、録音ボタン、メニューボタンを押すと、それまでに設定した項目を確定して停止状態になります。
- メニューの設定中に3分間何も操作しない場合は、停止状態に戻ります。このとき選択途中の項目は設定されません。

↑↓ : 早戻し / - または
早送り / + ボタンを押す

警告表示一覧

表示	意味	詳細	解決方法
BATTERY LOW	電池残量警告	電池残量がない	新しい電池に交換してください (P.15)。
Ⓜ CARD	誤消去防止警告	誤消去防止シールが貼ってあるスマートメディアに記録や消去をしようとした	誤消去防止シールをはがしてから操作をやり直してください (P.18)。
CARD ERROR	未対応スマートメディア挿入警告	本機に未対応のスマートメディアが挿入された	本機に合ったスマートメディアを使ってください (P.10)。
EJECT ERROR	スマートメディアの取り出しエラー	動作中にスマートメディアを抜いた	スマートメディアを入れ直してください。
FOLDER FULL	ファイル最大数警告	フォルダ内のファイル件数が最大数 (199) になっている	必要のないファイルを消去するか、または別のスマートメディアをお使いください。
FORMAT ERROR	初期化エラー警告	初期化中に問題があった	スマートメディアを入れ直し、初期化してください (P.43)。
INDEX FULL	インデックスマーク最大数警告	ファイル内でインデックスマークを最大数 (16) まで使っている	必要のないインデックスマークは消去してください (P.35)。
INSERT CARD	カード無し警告	スマートメディアが入っていない	スマートメディアを入れてください (P.18)。
Ⓜ LOCK ON	消去ロック警告	消去ロックがかかっているファイルに挿入録音や消去をしようとした	消去ロックを解除してください (P.32)。
MEMORY FULL	メモリ残量ゼロ警告	挿入されているスマートメディアのメモリ残量がない	必要のないファイルを消去するか、または別のスマートメディアをお使いください。
NO FILE	ファイル無し警告	フォルダ内にファイルがない	フォルダを選び直してください。
Ⓜ READONLY	記録不可能警告	スマートメディアに異常がある	データのバックアップをとって (P.44) スマートメディアを初期化してください。
SAME FILE	ファイル移動不可能警告	移動先のフォルダに同じファイル名*のファイルがある	違うフォルダにファイルを移動してください。
TRAIN PC	パソコン入力用マイク表示	本機をパソコン入力用マイクとして使用している**	USB 接続キット (別売) の取扱説明書をご覧ください。

* 本機では録音時にファイル管理上内部でファイル名がつけられます。

** フォルダボタンを押し続けるとこの状態になります。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	対処方法
ディスプレイ に何も表示さ れない	電池が正しく入っていない	電池の +、- を確かめてください
	電池が消耗している	電池を交換してください
操作できない	電源 / ロックスイッチが入っていない	電源 / ロックスイッチを「入」にしてください
	思い当たらない	本機をリセットしてください (P.47)
録音できない	ホールドがかっている	ホールドを解除してください (P.47)
	スマートメディアが初期化されていない	初期化してください (P.43)
再生音が聞こ えない	電池が消耗している	電池を交換してください
	スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある	シールをはがしてください
	スマートメディアが初期化されていない	初期化してください
	メモリ残量がない	必要のないファイルを消去する か、または別のスマートメディア をお使いください
再生音が聞こ えない	ファイル番号が最大記録件数になっている	別のフォルダを確認してみてください
	イヤホンが接続されている	イヤホンをはずしてください
消去できない	音量つまみが“0”になっている	音量つまみを調節してください
	消去ロックがかかっている	消去ロックを解除してください (P.32)
再生時に雑音 がする	スマートメディアに誤消去防止シールが貼ってある	シールをはがしてください
	録音時に本機をこすったりした	操作時に本機の位置を変えてみて ください
録音のレベル が小さい	録音時、再生時に本機を携帯電話や蛍光灯の近くに置 いている	マイク感度を「会議」にしてもう 一度録音してみてください
インデックス マークがつけ られない	マイク感度が低い	必要のないインデックスを消去し てください (P.35)
	インデックスマーク件数が最大 (16 件) になっている	シールをはがしてください 消去ロックをはずしてください (P.32)
ACアダプタで 動作しない	専用でないアダプタで操作した	専用アダプタ (別売) をご利用く ださい
スマートメ ディアが取り 出せない	電源 / ロックスイッチが「入」になっている	電源 / ロックスイッチを「切」に してください

主な仕様

記録形式	デジタルスピーチスタンダード (DSS) 形式	電池持続時間 (録音)	約 11 時間 (アルカリ乾電池使用時で当社試験法による)
記録媒体	3 (3.3) V スマートメディアカード (4 ~ 64MB)	(再生)	約 11 時間 (アルカリ乾電池使用で当社試験法による)
カードフォーマット	SSFDC フォーラムに準拠するスマートメディアフォーマット	外形寸法	109.5 × 50.0 × 16.7mm (最大突起部含まず)
規定入力レベル	- 70dBv	質量	86g (電池含む)
サンプリング周波数	SP モード: 12kHz LP モード: 8kHz	同梱品	本体 16MB スマートメディア イヤホン (E101) アルカリ単 4 形乾電池 × 2 本革製専用ケース 取扱説明書 (本書保証書付) クイックマニュアル 愛用者カード
総合周波数特性	SP モード: 300 ~ 5000Hz LP モード: 300 ~ 3000Hz		オリンパスサービスステーションリスト
記録時間	SP モード: 2 時間 35 分 (16MB カード) LP モード: 5 時間 30 分 (16MB カード)		
スピーカー	28mm 丸型ダイナミックスピーカー内蔵		
マイクジャック	3.5mm 小型ジャック、インピーダンス 2k Ω		
イヤホンジャック	3.5mm 小型ジャック、インピーダンス 8 Ω		
実用最大出力 (DC3V)	100mW 以上 (スピーカー 8 Ω)		
電源	定格電圧: 3V 電池: 単 4 形乾電池 2 本 (LR03 または R03) 外部電源: AC アダプタ		

* 本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

* 電池寿命は使用電池・使用条件により大きく変わります。

アクセサリ（別売）

USB 接続キット：AS-100W

本機で録音した音声データ（メッセージ）をパソコンに転送する場合に使用します。

専用 USB ケーブル、DSS Player 4 (Windows98/2000 対応ソフトウェア、CD-ROM 版) などが含まれます。

スマートメディア 4、8、16、32、

64MB：M-4/8/16/32/64 P/PI

オリンパスデジタルカメラ C A M E R A 用 3 (3.3) V スマートメディアが使用できます。

PC カードアダプタ：MA-2

PC カードスロットまたは PC カードドライブがあるパソコンではファイルを読み込むことができます。

フラッシュバス（フロッピーディスクアダプタ）：MAFP-2N

3.5 インチフロッピーディスクドライブがあるパソコンではファイルを読み込むことができます。

スマートメディア・リーダー/ライター：

MAUSB-2

Windows98 対応のパソコンでデータの転送を高速かつ簡単に行うことができます。

エレクトレットコンデンサーマイクロホン：ME7*

高感度狭指向性マイクロホン（望遠マイクロホン）です。本機から距離が離れている話し手の声を録音する場合に使用します。

エレクトレットコンデンサーマイクロホン：ME11*

タイプイン型の無指向性マイクロホンです。付属のクリップを使ってマイクロホンをご自身の洋服のえりなどに付けることができます。ご自身の声や近くの人の声を録音する場合に使用します。

単一指向性マイクロホン：ME12

周囲の雑音の影響を軽減して、ご自身の声をクリアに録音したい場合に使用します。

AC アダプタ：A324

国内専用の AC アダプタです。

コネクティングコード：KA232*

ラジオなどのイヤホンジャック（モノラルタイプ）と本機のマイクロホンジャックを接続して、ラジオの音声を録音する場合に使用します。

プラグアダプタ：PA3

ミニミニプラグ（2.5）をミニプラグ（3.5）用のジャックに接続するためのプラグアダプタです。ミニミニプラグを備えたマイクロホンなどを、本機のマイクロホンジャックに接続する場合に必要です。

* これらのアクセサリは、プラグアダプタ PA3 といっしょにご使用ください。

用語の説明

用語	意味	参照ページ
ボイストレック	オリンパス製デジタル音声レコーダーの総称です。	8
スマートメディア	本機で使用しているメモ리카ードのことです。	8、10、18
メモリ	本機ではスマートメディアのことを指します。	8、10
ファイル	本機では録音した用件のことをファイルと呼びます。	8、20、42
フォルダ	ファイルを分類して録音するための機能（入れ物）です。本機にはA、B、Cの3つフォルダがあり、各フォルダごとに199件のファイルが録音できます。	8、20、40、42
SSFDC フォーラム	スマートメディアの規格、標準化を進める団体の名称です。	12
キュー	早送り再生のことです。	25
レビュー	早戻し再生のことです。	25
VCVA	設定より大きな音を感じると自動的に録音を開始し、音が小さくなると停止する音声起動録音の略称です。	28
挿入録音	録音済みのファイルの途中で録音を追加する機能です。	29
録音モード	録音の用途に合わせて選択可能な録音方式のことです。標準的な音質が得られるSPモードと長時間録音できるLPモードがあります。	31
消去ロック	誤消去を防止するための機能で、各ファイルごとに設定可能です。	32
インデックスマーク	ファイル中のどこにでもつけられる頭出し信号のことです。	34
アラーム再生	指定した時刻にアラーム音が鳴り、アラーム音が鳴っている間にボタンを押すと設定したファイルを再生する機能です。	36
BEEP (ピープ)音	ボタンを操作したときの確認音や警告音のことです。	39
フォーマット	スマートメディアを本機で使えるようにすることです。初期化とも言います。	43
USB 接続	本機とパソコンを接続するための方法です。接続にはパソコン側にUSB端子が必要です。	44

<アフターサービスについて>

お買い上げいただきました本機を安心してご愛用いただくために当社では、次のアフターサービス体制をとっております。

製品に関するお問い合わせは

オリンパスカスタマーサポートセンター

Tel : 0426 (42) 7499

Fax : 0426 (42) 7486

〒192-0032 東京都八王子市石川町 295 1

下記のアクセスポイントにお電話いただきますと、オリンパスカスタマーサポートセンターに転送されます。アクセスポイントまでの電話料金はお客様のご負担となります。

[アクセスポイント]

札幌 : 011-231-2338

仙台 : 022-218-8437

名古屋 : 052-201-9585

大阪 : 06-6252-0506

広島 : 082-222-0808

福岡 : 092-724-8215

サポート時間 AM10:00-PM5:00

(ただし、土、日、弊社定休日を除きます。)

オリンパスホームページ

<http://www.olympus.co.jp> でデジタルボイスレコーダー (ボイストレック) および関連製品の技術情報を提供しております。

デジタルオリンパスサイト

<http://www.digital-olympus.com> でデジタルボイスレコーダー (ボイストレック) および関連製品の製品情報を提供しております。

製品の修理に関してはお買い上げ店か、お近くのオリンパスサービスステーションにお問い合わせください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後6年間を目安に保有しております。従いまして上記期間中は、原則として修理をお受けいたします。また期間後であっても修理可能の場合もあります。

なお保証期間経過後の修理は有料となります。また、保証期間中でも運賃など諸費用は、お客様にご負担をお願いいたします。

< 保証規定 >

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書にしたがった正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
 2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は当社サービスステーションに依頼してください。
 3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、別紙の最寄りのサービスステーションにお問い合わせください。
 4. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 5. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
 6. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
 - イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解・掃除等による故障。
 - ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
 - ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
 - 二. 本書のご提示がない場合。
 - ホ. 本書にお買い上げ年月日・シリアルNo. お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - ヘ. 電池等の消耗品による故障。
7. 保証の対象は本体のみです。

< 保証書取扱い上の注意 >

本書は日本国内においてのみ有効です。
(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

< 保証責任者・保証履行者 >

オリンパス光学工業株式会社
〒163-8610 東京都新宿区西新宿 1-22-2 新宿サンエービル

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から1年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部 品 代	修 理 工 料
本 体	1 年	無 料	
品 名	ボイストレック	型 名	DS-1
ボディ No.		お買い上げ日	年 月 日
お 客 様	住所 〒	無 効	
	TEL		
	氏名	様	
販 売 店 名			